

登録コード	HS510200	開講年度	2026				
授業題目	植物病理学特論				担当教員	加藤 新平	
英文授業名	Advanced Plant Pathology				副担当		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加						
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能				植物の病害抵抗性機構、病原体の病原性機構および植物と病原体の相互作用を分子レベルで理解できる。		
(2)詳細/Detailed information	植物の病害抵抗性機構、病原体の病原性機構および植物と病原体の相互作用を分子レベルで理解する。						
(3)授業の概要/Overview of course	植物の病害抵抗性機構および病原体の病原性機構に関する最新の研究成果とその意義について解説する。						
(4)授業計画/Course plan	1 ~ 5 . 植物の抵抗性機構 6 ~ 10 . 病原体の病原性機構 11 ~ 15 . 植物と病原体の相互作用 * 講義の内容は、基本的に最新の分子レベルでの知見の紹介になります。 そのため、基礎的な専門知識と英語の読解力が必須になります。						
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	期末のレポートで評価する。90点以上を秀、80～89を優, 70～79点を良, 60～69点を可とする。						
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	期末レポートは以下の基準で評価する。 担当教員を感心させるレベルであれば「卓越している」 担当教員を満足させるレベルであれば「かなり上にある」 レポートとしての一般的な形式・内容を満たしていれば「やや上にある」 レポートとしての最低限の形式・内容を満たしていれば「合格水準にある」						
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	関連する専門書や論文を自ら読むこと。						
(8)履修上の注意/Notes	基礎的な専門知識と英語の読解力が必要です。						
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	電子メールで連絡してください。 shinpei@shinshu-u.ac.jp (@が全角にしてあるため、半角にしてください)						
(10)授業の形式/Course format	開講時間・場所については、ある程度受講生の希望に対応します。 受講登録前に相談してください。						
【教科書/Textbook(s)】	とくに指定しない。						
【参考書/Reference work(s)】	とくに指定しない。						